

報 雜

◎人 事

正三位勳二等 島 園 順 次 郎
(四月二十七日)
 授旭日重光章

侍醫寮御用掛 井 上 誠 夫
(四月三十日)
 勅任官ヲ以テ待遇セラル

岡山醫科大學教授從五位 石 山 福 二 郎
 陞敍高等官二等

岡山醫科大學助教授 武 田 俊 光
(五月一日)
 陞敍高等官三等

岡山醫科大學教授 柿 沼 吳 作
 正五位勳四等
 任東京帝國大學教授
 敍高等官二等

東京帝國大學教授 柿 沼 吳 作
 賜本俸八級俸
 醫學部勤務ヲ命ス

內科學第一講座擔任ヲ命ス (五月六日)
 正七位勳四等 矢 野 恒 太
 臨時物價對策委員會委員ヲ囑託ス
(五月十日)

正四位勳三等 石 原 眞 一
 授旭日中綬章

從四位勳四等 横 川 定
(五月八日)
 敍勳三等授瑞寶章

谷 正 志
 杉 原 正 毅
 (各通) 伊 庭 喬 樹
 淺 山 秀 夫
 甲 斐 太 郎
(五月一日)
 敍從七位

從二位勳一等 荒 木 寅 三 郎
(五月十四日)
 任樞密顧問官

岡山醫科大學助教授 武 田 俊 光
 本俸三級俸下賜

岡山醫科大學助教授 日 下 連
 本俸十一級俸下賜

岡山醫科大學教授 八 木 日 出 雄
 歐米各國へ出張ヲ命ス (五月十三日)
 衛生技師 安 原 節 太 郎
(四月二十日)
 五級俸下賜

飛行第八聯隊附 戒 能 一 郎
 陸軍軍醫大尉
 兼補昇東陸軍航空支廠廠員
(五月十三日)

從五位 石 山 福 二 郎
(五月十五日)
 敍正五位
 橋 本 清

任岡山醫科大學助教授
 敍高等官七等

岡山醫科大學助教授 橋 本 清
 本俸十二級俸下賜
 職務俸金五百四拾圓下賜 (五月二十一日)
 正五位 北 山 加 一 郎

任岡山醫科大學教授
 敍高等官三等

岡山醫科大學教授 北 山 加 一 郎
 本俸六級俸下賜
 職務俸金千七百圓下賜 (五月二十五日)

○柿沼吳作君 別項の如く東京帝國大學に榮轉せられたる同君は本月7日當地を出發赴任せられ東京市四谷區舟町15番地に寓居せらる

○八木日出雄君 別項の如く今般歐米各國に出張を命ぜられたる同君は本月27日神戸出帆の箱崎

丸にて出發せられたり

○北山加一郎君 東京帝國大學教授に轉任せられたる柿沼吳作君の後任として別項の如く岡山醫科大學教授に任せられたる同君は日本赤十字社岡山支部病院長を辭任せられたり

○齋藤 治君 日本赤十字社岡山支部病院婦人科醫長たる同君は今般北山君の後任として同院長に就任せられたり

○藤田 富豐君 岡山市立市民病院長たりし同君は今般日本赤十字社岡山支部病院内科醫長に就任せられたり

○川崎 祐宣君 は今般岡山市立市民病院副院長兼外科醫長を命ぜられたり

○瀧川 克巳君 は今般岡山市立市民病院番町分院長を免し市民病院(天瀬)内科醫長を命ぜられたり

○中田富士男君 は今般岡山市立市民病院番町分院長を命ぜられたり

○兒子 廉夫君 は今般岡山市半田療養所に勤務せられたり

○藤井 敏夫君 豫て岡山醫科大學柿沼内科教室に勤務し居られし同君は今般岡山市立岡山病院に轉勤せられたり

○佐藤 直泰君 は豫て岡山醫科大學津田外科教室に勤務し居られしが今般兵庫縣阪神沿線甲子園末岡病院に轉勤せられたり

○石川 昂君 豫て岡山醫科大學産婦人科教室に勤務し居られし同君は今般岡山市立天瀬市民病院婦人科に轉勤せられたり

○秋山 頼光君 豫て高知市山崎産婦人科病院に勤務し居られし同君は今般岡山醫科大學産科婦人科教室に轉勤せられたり

○堤 貞夫君 は今般神戸市移民教養所醫局を辭し岡山醫科大學皮膚科泌尿器科教室に於て研究に従事せらる

津本由次郎君 は大正6年岡山醫學專門學校を卒業し和歌山縣有田郡八幡村に於て開業し居られしが過日病を以て遠逝せられたりと寔に痛惜に禁はず謹みて茲に弔意を表す

◎第36回日本精神神經學會總會

本月8,9の兩日岡山醫科大學生化學教室講堂に於て開會す其「プログラム」は次の如し

第1日 5月8日(土曜)午前8時開會

開會の辭 會 長
演 說

1. 癌腫屍に於ける腦の病理組織學的研究

水野 義彦(日大病理)

2. 犯罪者腦髓の纖維構成學的研究

北岡 信親(日大病理)

3. 犯罪者腦髓の病理解剖學的研究 其の2

一般病理組織學的觀察 第2報

長澤 米藏
永井 一忠(日大病理)
吉田 信一
寺島 信一

4. 腰髓後根に於ける無髓神經纖維に就て

楠 二夫(東大 内科)

5. ガッセル氏神經節に於ける逆行性變化に就て

茂木 正次(東大 内科)

6. 後頭下穿刺の臨牀的應用價值に就て

松岡 龍三郎(京都府立 醫大 精神科)
山本 録次郎
柏村 二郎
田頭 利男

7. 剝離貼付法による腦動脈の研究

仁志川 種雄(松澤病院)

8. 「カルチアゾール」痙攣の理化學的研究

分島 俊
田實 一右(益神院)
安里 護

9. Cardiazol 痙攣の研究
松村英久 齋藤西三 奥田三郎 (松澤病院)
10. 自家全血液、血清及び血球の腦實質内注入
によりて生ずる腦の組織學的變化に就て
青柳東作 (東大 島園内科)
11. 後頭下腔の空氣送入による血液像の變化
山崎邦隆 (熊大神經 精神科)
12. 精神分離症患者血清の海猿造血機官に及ぼ
す影響
稻見好壽 (東大 精神科)
石川準子 (精神科)
13. 腦動脈撮影に就て
清水健太郎 (東大 大槻外科)
14. 精神乖離症者の「エンツェファログラフイー」
に就て
小泉四郎 (新潟醫大 精神科)
15. 腦内透寫法知見補遺
笠松秀二 (北大 精神科)
吉川萬雄 (精神科)
16. 偶發性蜘蛛膜下腔出血症の統計的觀察
竹内兵衛 (慶大内科)
17. 限局性脊髄膜脊髄炎及び脊髄膜脊髄神經根
炎の外科的知見
岩原寅猪 (慶大 整形外科)
大内正夫 (整形外科)
18. 出血性内硬腦膜炎 (Pachymeningitis hae-
morrhagica interna) の診斷及び治療法に
就て
齋藤眞 (名大 齋藤外科)
- 宿題報告
筋「と一ぬす」と其神經性積分機
佐々貫之 (千葉醫大 教授)
19. 神經性積分機と其障礙に關する研究
活動電流より觀たる慢性腦炎拮抗筋の態度
安部實一 (千葉醫大)
關川安世 (佐々内科)
20. 病態腱反射の描寫測定的觀察 (續報)
篠田靜雄 (千葉醫大 佐々内科)
21. 眼球内臟反射中樞部位に關する實驗的研
究 (續報)
三好清夫 (千葉醫大 佐々内科)
22. 腦生理及び臨牀實驗に關する著者の一考察
の成績 中川秀三 (北大 精神科)
23. 中樞神經系に對する組織化學反應の應用と
其の意義
近藤宗一 (北大 精神科)
24. 腦 Allergie の實驗的研究
宮原孝作 (千葉醫大 精神科)
25. 實驗的「タリウム」中毒の研究 (第1回報告)
遠藤正俊 (千葉醫大 精神科)
26. 家兎に於ける「マンガン」の分布及び排泄
三池巖 (熊大神經 精神科)
27. Deckert 氏尿中微量「モルヒネ」檢出法の追試
宮本若松 (城大神經 精神科)
28. 實驗的「メスカリン」中毒
第2編 動物に於ける試み
堀要 (名大神經 精神科)
29. 「メスカリン」中毒による意志障礙の研究
内田勇三郎 (早稻田 戸川行男 心理)
30. 二硫化炭素中毒症の生物學的並に心理學的
檢索 永田權杖 (京大 精神科)
31. 神經微毒患者の腦脊髄液中に於ける「スピ
ロヘータ・パリダ」の證明
橋田實 (阪大 神經科)
32. 家兎槽腔内「スピロヘータ・パリダ」注入に
因りて生ずる中樞神經系統の病理組織學的
變化 奥博 (東大 島園内科)
33. 夏季腦炎猿腦の「インドフェノールオキシ
ダーゼ」反應に就て
岡爲輔 (九大 金子内科)
中本甫 (九大 精神科)
34. 夏季腦炎に於ける視神經の組織學的變化
鹽崎昇吉 (慶大 神經科)

- 35. 腦炎毒素接種「マウス」腦に於ける 2, 3 酵素並に化學的物質の變化に就て
 山田進(九) 河島大(大) 高上動(金子内科)
 - 36. 流行性腦炎の脊髓炎型症例
 河 口 宗 一(阪 大) (神 經 科)
 - 37. 實驗的肝臟障礙に於ける神經組織の變化附「アルツハイメル」氏非定型的「グリア」細胞に就て
 王 丸 勇(九州醫專) (神 經 科)
 - 38. 精神神經科に於ける肝臟障礙
 結 城 幸 二(養 神 院) 小 林 準
 - 39. 精神病者に於ける赤血球沈降速度並に血液凝固性の異常の本態及び之が白血球像の變動との關係に就て
 牛 山 篤 夫(慶 大) (慶 神 經 科)
 - 40. Pinealom に關する考察
 天 野 正(千葉醫大) (精 神 科)
 - 41. 體温の神經性調節に制する研究(第3回報告)
 南 虎 一(熊大神經) (精 神 科)
 - 42. 癩癩患者に於ける腦下垂體後葉の機能検査に就て
 山 本 録 次(京府大神) (經精神科)
- 第 2 日 5 月 9 日(日曜)午前 8 時開會
演 說**
- 43. 痙攣性疾患に於ける腦の組織學的觀察
 落 合 名 三 郎(日大病理)
 - 44. 色素性乾皮症と腦疾患の合併症
 滿 田 久 敏(京 大) (精 神 科)
 - 45. 脉絡叢の間質性顆粒細胞に就て
 田 邊 周 藏(新潟醫大) (精 神 科)
 - 46. 「アクロメガリー」の一剖検例
 前 防 立 達(阪 大) (神 經 科)
 - 47. 神經切断後其類脂體量の變動に就て
 杉 山 興 茂 平(慶 大) (慶 神 經 科)

- 48. 實驗的腦腫瘍の臨牀的並に病理解剖的檢案
 岸 本 鎌 一(名 大) (名 神 經 科) 淺 功 大 正 保 潔 敏
- 49. 小腦萎縮腦の病理組織學の見見
 (故松原三郎博士腦髓)
 谷 野 亮 一(金 大) (精 神 科)
- 50. 神經系疾患に於ける中間新陳代謝(第13報) 偏癱に於けるもの
 布 施 信 良 王 子 田 壽 喜 一 前 長 分 雄 榮 夫 治 巽 玉 夫 巽
- 51. 神經系疾患に於ける中間新陳代謝(第14報) 1, 2 神經系疾患の中間新陳代謝に及ぼす「ビタミン」C 及び「グリコル」の影響
 布 施 信 良 王 子 田 壽 喜 一 前 長 分 雄 榮 夫 治 巽 玉 夫 巽
- 52. 「ビタミン」C の腦脊髄液内移行に就て
 巽 生 逸 稔 浦 上 林 平 夫 三
- 53. 精神分離症患者の血糖と液糖との比に就て
 阿 部 政 三(札 幌)
- 54. 發熱の腦脊髄液窒素代謝に及ぼす影響に就て
 土 屋 榮 吉(京郡岩倉) 柏 村 二 郎(病 院)
- 55. 精神乖離症者の血液並に腦脊髄液瓦斯に就て
 川 端 純 一(名 大) (神 經 科)
- 56. 間腦「エキス」が精神乖離症者に及ぼす影響
 岸 本 鎌 一(名 大) (名 神 經 科) 伊 藤 貞 次
- 57. 腦脊髄液の窒素代謝に關する研究
 松 岡 龍 三 郎(京 都 府 大) 山 本 録 次 郎(神 經 科) 柏 村 二 郎
- 58. 腦脊髄液の「アルブミン」消長に就て
 相 澤 鑑(東 北 大) (精 神 科)
- 59. 各種痙攣毒の大腦組織呼吸及び解糖作用に及ぼす影響
 奥 村 二 吉(九 大) (精 神 科)

60. 高血壓患者に於ける性的作用並に非化水素

電氣誘導療法による之が影響に就て

井上勇三 山家敏雄 清水水谷 大谷廣憲 (大阪大) 内布施内科

宿題報告

離人症

61. 所謂症候性「シツオフレニー」に就て
三浦百重 (京都帝國大學教授)
62. 「アイヌ」の精神病學的研究總括
大成潔 (滿精大) 精神科
63. 臺灣に於ける精神神經症
中脩三 (養神院)
64. 精神分離症に於ける「インシュリンシヨツク」療法の經驗
久保喜代二 (城大神經精大) 精神科
65. 吾が教室に於ける精神分離症に對する「インシュリンシヨツク」療法の成績報告
平畑富次郎 (京精大) 精神科
66. 精神神經科に於ける「リンゲル」葡萄糖、「インシュリン」療法
分島俊 (養神院) 小林正道
67. 恙蟲病毒による腦微毒の治療に就て
上村忠雄 (新潟大) 佐藤猪久彦 (精神科)
68. ワイル氏病原體接種に因る早發性癡呆並に神經系統の變形微毒の治療に就て
高瀬清 (長精大) 松下兼知 (精神科)
69. 「ウイルソン」假性硬化症群疾患の病因に就て
丸井清泰 (東北大) 丸井琢次郎 (精神科)
70. 幼兒性不安の一型
山村道雄 (東北大) 精神科
71. 神經質患者治療經過中に於ける向性の變化
宇佐玄雄 (京精大) 精神科
72. 受刑者の自律神經緊張狀態に關する研究
丸山郁雄 (福岡) 刑務所
73. 受刑者の精神病, 特に心因性反應に就て
吉益脩夫 (東大) 脳研究室
74. 保護少年の自殺念慮及び自殺企圖
谷貞信 (多摩) 少年院
75. 血縁間内因精神病に就て
秋元波留夫 (松澤病院) 小林八郎 (東大) 精神科
76. 妄想性癡呆の缺陷狀態に於ける病型
高良武久 (慈精大) 精神科
77. 森田氏祈禱性精神病に就て
佐藤政治 (慈精大) 精神科
78. 小兒脚氣症の神經症狀に就て
笠原道夫 (阪大) 森文雄 (小兒科)
79. 「ミアステニー」性症候群に就て
木村潔 (大阪) 北野病院
80. 假性麻痺性筋無力症と「プロスタグミン」の効果
鏡淵潤 (新大) 第2内科
81. Lachschlag に就て
朝山種光 (濱松)
82. 精神乖離症の「アルシリン」療法
持田治郎 (福井)
83. 驅微療法に關する一提唱
亘繁 (大阪)
84. 所謂非定型的麻痺性癡呆の體質學的研究
後藤貞武 (九州醫專) 王丸勇 (神經科)
85. 腦に於ける酵素の研究 第4報
1) 麻痺性癡呆及び緊張病者腦(及び腦脊髓液)に於ける「オキシダーゼ」反應
2) 前者及び躁病者血液(及び腦脊髓液)に於ける解糖及び糖原分解作用に就て
圓山廣俊 (九精大) 精神科
86. 結核性腦膜炎に於ける腦實質の變化に就て
小島居薰 (九精大) 精神科
87. 精神乖離症患者胸腺死の1例
小泉六郎 (新精大) 精神科

閉會の辭 主 幹